⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する**
- **万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は ➡ ❶電源を切る ❷ソニーの相談窓口に相談する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号
火災	禁止　接触禁止　分解禁止

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社ではビデオライトの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

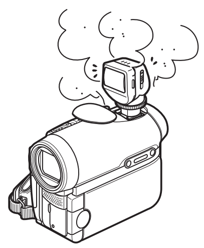
ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：HVL-HL1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ日

⚠警告 火災 下記の注意事項を守らないと、火災などにより死亡や大けがの原因となります。

点灯したまま放置しない 禁止

火災の原因となります。使用しないときは必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。



ビデオカメラに取り付けたままケースに収納しない 禁止

万一誤ってスイッチが「ON」になると、発煙、発火の原因となることがあります。

点灯中と消灯直後のランプにさわらない 接触禁止

ランプ及びその周辺は非常に高温になるのでやけどの恐れがあります。ランプの交換や収納は充分に冷えてから行ってください。

指定以外のランプは使用しない 禁止

火災の原因となります。

放熱孔をふさがない 禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

紙や布などの燃えやすいものを近付けない 禁止

火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所では使わない 禁止

火災の原因となることがあります。

アルコールやベンジンなど揮発性、引火性の高い薬品を近付けたりライトの近くに置いたりしない 禁止

発火、発煙の恐れがあります。

分解しない 分解禁止

分解したりすると火災や故障の原因となります。内部の点検などはソニーの相談窓口にご相談ください。

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさない 禁止

そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

熱くなったガラスに水などをかけない 禁止

破損し、けがをすることがあります。

点灯中のランプを直接見ない 禁止

強力な光は目をいためる恐れがあります。

2-515-130-**04** (1)

SONY

ビデオライト

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

HVL-HL1

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Active Interface Shoe

このマークの商品は、ソニー（株）のビデオ機器のアクティブインターフェースシューシステムに対応しています。このシステムを搭載したビデオ機器とアクセサリーを組み合わせることにより、目的に合わせた効果的な撮影が簡単に行えます。

主な特長

- ビデオカメラに取り付けて使うビデオライトです。
- アクティブインターフェースシュー搭載のビデオカメラにお使いいただけます。
- ビデオカメラのスタンバイ状態に連動して電源のON／OFFができます。
- オート撮影時は、暗い場所で自動的に点灯します。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月〜金:9:00〜20:00 土･日･祝日:9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/

eco info この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

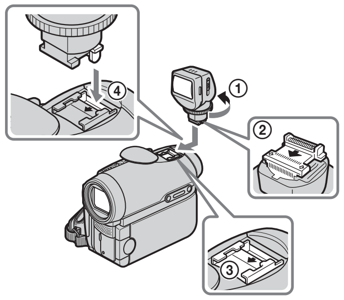
取り付ける

ビデオカメラに取り付ける／取りはずす際は、ビデオライトの電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。

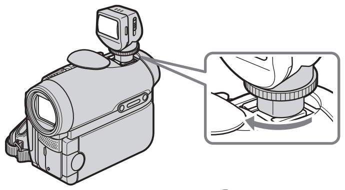
1 ビデオライトの固定つまみが反時計方向①に回りきっているか確認する。

2 ビデオライトの裏面にある矢印②とビデオカメラにある矢印③の方向をあわせる。

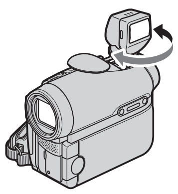
3 ビデオライトのシューコネクタ（端子部）をビデオカメラ凹部④にはめ込み、矢印③の方向にスライドさせる。



4 固定つまみをカチッと音がするまで時計方向に回し固定させる。



5 ビデオカメラのレンズの方向にあわせて、ビデオライトを回転させる。
ビデオライトは180度以上回転します。



取りはずすとき

1 固定つまみを反時計方向に回してゆるめる。

2 上から押しながら取り付けた方向と反対に引き出してはずす。

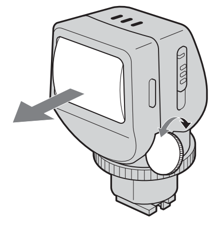
ご注意

ビデオライトが差し込めないときは、固定つまみをとまるまで反時計方向に回してください。固定ロックが解除されます。

ランプを交換するには

交換用ランプはソニーキセノンランプ XB-3Lをお使いください。お求めの際は、ソニーの相談窓口へご相談ください。その際、ソニーキセノンランプ XB-3L（A-1099-823-□）をお申し付けください。点灯中に切れた場合はランプ本体が冷えてから交換してください。

1 本体が冷えたことを確認後、コインなどを使って、フロントカバーをはずす。

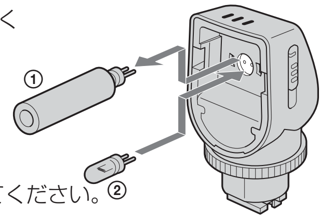


2 ランプを差し替える

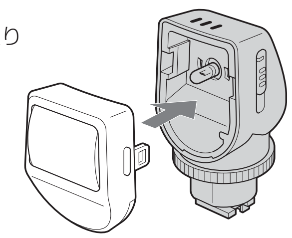
① 交換用ランプに付属のチューブをランプに差し込み、古いランプを引き抜いてください。

② 交換用ランプを、ランプの根元の差し込み口にまっすぐに差し込んでください。

* ランプが傾かないように、注意してください。



3 フロントカバー両側のツメを差し込み取り付ける。

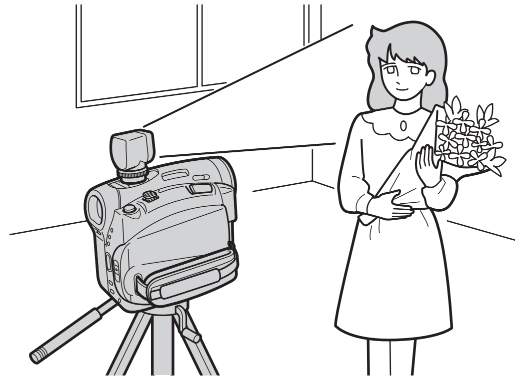


ご注意

- 点灯中に切れたランプは、高温になっています。ランプが冷えてから交換してください。
- 新しいランプは直接手で触れずに、乾いた布などでくるんで取り付けてください。ランプの表面に指紋や汚れが付いたときは、きれいに拭き取ってください。

被写体へのライトの当てかた

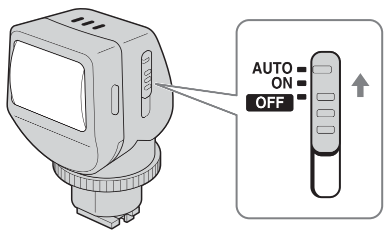
- 室内撮影などに使用すると、被写体をきれいに写せます。
- 広角の画面撮影時には周辺の光量が不足します。その時は中央の被写体に効果的なスポットライトとしてご使用ください。
- 室内照明が蛍光灯の場合、画像にちらつきがでることがあります。ビデオライトを併用すると色ムラが消え、比較的きれいな画像になります。



ビデオライトを使う

暗い場所で自動的に点灯させるとき

1 電源スイッチを「AUTO」にする。

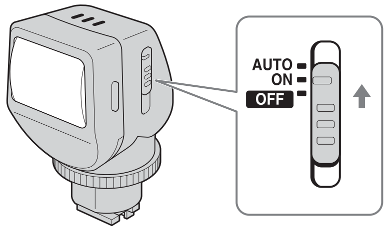


2 ビデオカメラをスタンバイ状態にする。

撮影時、暗い場所では自動的にライトが点灯します。
「AUTO」では撮影中でも約5分たつと自動的に消えます。
点灯中に消すときは、ビデオカメラを「切（充電）」またはビデオライトの電源スイッチを「OFF」にします。
撮影中、常時点灯させる場合は、ビデオライトの電源スイッチを「ON」にしてお使いください。

ビデオカメラのスタンバイ状態と連動して点灯させるとき

1 本機の電源スイッチを「ON」にする。



2 ビデオカメラをスタンバイ状態にする。

連動してライトが点灯します。
消すときは、ビデオカメラを「切（充電）」またはビデオライトの電源スイッチを「OFF」にします。

使い終わったら

電源スイッチを「OFF」にする。

ご注意

- ビデオカメラのスタンバイ状態が長いとバッテリーの消耗が早まります。こまめにスタンバイ状態を「切（充電）」にしてください。
- ご使用にならないときは、付属のポーチに収納してください。
- 収納するときは、ビデオライトが充分に冷めているのを確認してください。

取り扱い上のご注意

- 内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。
- 点灯中のライトにショックを与えないでください。ランプが切れたり寿命が短くなったりすることがあります。
- バッテリーをビデオカメラと共通に使用していますので、ビデオライト使用時は、撮影時間が通常撮影時より短くなります。
- 本機を持って、ビデオカメラを持ち上げないでください。

お手入れのしかた

時々、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布でふいてから、もう一度からぶきしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

主な仕様

電源電圧	DC 7.2 V
消費電力	約3.0 W
最大光度	約100 cd
照射方向	水平
照射角度	約15 度

ランプ点灯時連続録画時間

モード／バッテリー	ビューファインダーで撮影時（DCR-HC90使用時）	液晶画面で撮影時（DCR-HC90使用時）
NP-FA50	約35分	約30分
NP-FA70	約70分	約60分

（上記はそれぞれのバッテリーが充分に充電されている場合の、おおよその時間を示しています。）

撮影距離	1 m：約100 ルクス 2 m：約25 ルクス 3 m：約12 ルクス
色温度平均	約3,000 K
ランプ寿命	約100 時間

その他

外形寸法	約31.5 × 57.5 × 40 mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約30 g
同梱物	ビデオライト（1） ポーチ（1） 印刷物一式

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。